

# 淀川発見講座2017

開催レポート

～淀川河川事務所～



**6/3 (土)**  
10:30~17:20  
高槻市立  
今城塚古代歴史館  
参加者: **41**名

**6/4 (日)**  
9:15~17:00  
淀川三川合流域  
さくらであい館  
参加者: **59**名

さくらであい館の展望台



今城塚の古墳公園

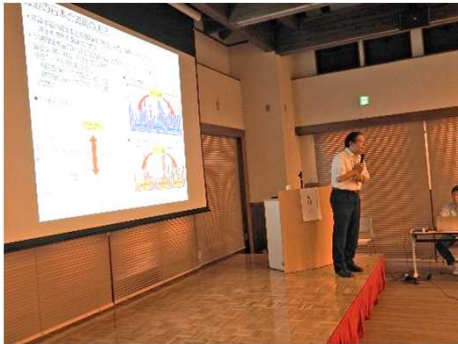


今城塚の古墳公園

淀川発見講座は、一般の方に淀川への関心・興味を深めていただくとともに、淀川管内河川レンジャーとなる人材を発掘・養成する事を目的としています。本年度は、大阪・京都の2会場で開催し、計100名の方が受講しました。



(写真1) 淀川のような生物、河川環境の変化、環境保全の取り組み等を多数の写真で紹介。



(写真2) 最近の水害、淀川の治水計画、河川整備等について、基本的な内容の説明。



(写真3) 淀川水系の古墳や、古墳の発掘調査等について説明の後、展示・古墳公園を見学。



(写真4) 江戸時代の絵図と探訪で、三川合流の変遷を解説。



(写真5) 住民と行政が協働で取り組む川づくり等を、事例をまじえて紹介。

科目	講師
淀川・桂川・宇治川・木津川の自然環境(写真1)	河合 典彦 氏 (淀川環境委員会 水域環境部会長)
淀川・桂川・宇治川・木津川の特性と治水(写真2)	中川 一 氏 (京都大学防災研究所 教授)
淀川歴史探訪 大阪会場(写真3)	内田 真雄 氏 (高槻市教育委員会文化財課 事務長)
三川合流歴史探訪 京都会場(写真4)	西野 由紀 氏 (天理大学 准教授)
いい川づくりの最前線(写真5)	澤井 健二 氏 (摂南大学名誉教授)
河川レンジャーの概要・養成講座について	瀬戸口 泰子 氏 (淀川管内センター河川レンジャー)

参加者の声

- ・自然に左右されるだけと思っていた河川管理に感心しました。
- ・治水と環境保全の両立の大切さを改めて思いました。
- ・手作り感あふれる講座で、内容も有意義でした。
- ・淀川についていろいろな視点から話が聞けて、とてもよかったです。

淀川管内河川レンジャーは、淀川流域にお住まいの皆さんと行政が一緒になって淀川・桂川・宇治川・木津川をより良くしていくために活動しているコーディネーター(橋渡し役)です。

▶ 詳しくは、淀川管内河川レンジャーのホームページをご覧ください。  
<http://www.river-ranger.jp/>

淀川管内河川レンジャー

